
第 122 回関西スペイン語教授法ワークショップ(TADESKA) 開催の報告

CXXII Reunión del Taller de Didáctica de Español de Kansai

日時：2018 年 11 月 3 日（土） 10:30 - 13:00

場所：関西学院大学梅田キャンパス(ハブスクエア) 1003 教室

担当者：小川雅美

「講読：La nueva gramática básica de la lengua española 第 3 部『統語論』 IIIa 単文構造 第 20 章『直接補語、間接補語、被制辞補語』 pp.196-204」

* Fecha y hora: sábado, 3 de noviembre de 2018, de 10:30 a 12:30

* Lugar: Universidad Kwansei Gakuin, Campus de Umeda "K.G. Hub Square", Aula 1003

* Encargado por Masami Ogawa

* Lectura de la “Nueva gramática básica de la lengua española: Capítulo 22 “Complemento directo. Complemento indirecto. Complemento de régimen””

スペイン王立学士院、スペイン語学士院協会（2011）『スペイン語新文法基礎』 第 3 部 「統語論」 IIIa 単文構造

第 20 章 直接補語、間接補語、被制辞補語¹

★本章のテーマとなる語句を「補語」と名付けるか「目的語」と名付けるかについては、参加者より、言語学上の傾向では「補語」が優勢であるというコメントがあった。ただ、初級文法の授業では、学生が英文法の知識を援用できるように「目的語」という用語を用いているということであった。担当者も同様にしている。

小川雅美

[196]

1. 直接補語 (CD)

1.1 概要と範疇

1.1.1 概要

直接補語とは？

- ・ 項としての統語機能（項：動詞の意味によって選ばれる要素）
- ・ 対格代名詞(lo, la, los, las)と密接な関係
- ・ 動詞の外延を定め、意味を補完することに寄与

1.1.2 直接補語の機能を果たす統語範疇

a)	名詞句	Tomó <i>su mano</i> Defiende <i>lo justo</i>	Gastó todo <i>lo que tenía</i> Ayuda a <i>quien se lo pide</i>
b)	名詞従属文	Desea <i>entrar</i> Quiere <i>que vengas</i>	No sabemos <i>cómo solucionarlo</i> No sabe <i>si llegará a tiempo</i> Nos dijo <i>quién lo había hecho</i>

¹ 本稿は、TADESKA 第 122 回例会ワークショップで用いた資料に、事前のメモおよび当日の参加者の皆さんのコメントやそれについての担当者のコメントを付加したものである（★で表示）。原著のページ数を[]に示す。節の数字は担当者が付したものである。また、直接補語、間接補語、被制辞補語に対して、それぞれ CD, CI, CR の略号を適宜使用する。

1.2 直接補語の文法的特性

形式面からの直接補語の判別方法

1.2.1 [196]	弱勢代名詞による置換 - 最も特徴的 lo/la/los/las...対格弱勢代名詞 le...与格起源（有生物を示す男性単数形の名詞） - 限界 a) 1,2 人称で区別なし ←[策]3 人称で置換 b) 不特定(inespecíficos)の不定名詞句(grupos indefinidos)は置換困難 ←[策]後続の文を作る ★ワークショップ中次のコメントが出た。置換による判別法は直感的であり、かつ 1.3.1 のような場合利用不可能。また、後続の文を作るという場合も、その[CD]はあくまで後続の文の動詞の[CD]であるため、当該の文の動詞の[CD]であるかどうかは証明できない（右の黄色部分を参照）。	Necesitan ayuda → <i>La</i> necesitan Recorren ese camino → <i>Lo</i> recorren Reconoció a su hijo → [<i>Lo ~ Le</i>] reconoció Aquella bruja <i>nos</i> [→ <i>los</i> [CD]] encantó Aquel regalo <i>nos</i> [→ <i>les</i> [CI]] encantó Esa noche escribí mucho → *<i>Lo</i> escribí Esa noche escribí mucho, pero <i>lo</i> perdí. ★どこまでが不特定でどこからが特定なのか？ ¿Necesitas ayuda? ?<i>Sí, la necesito.</i> / ¿Quieres un café? *<i>Sí lo quiero.</i>
1.2.2	弱勢代名詞の重複の使用 「[CD]+V」の場合（強調除く） [CD]が強勢代名詞→義務的	El informe <i>lo</i> encuadernamos en la oficina. (Eso[強調] dijo el profesor) <i>Vi a María</i> → <i>La</i> vi a ella (*Vi a ella)
1.2.3 [198]	前置詞 a の存在 ”a+特定のかつ有生物” ★条件次第で a の有無の決まるものが[CD] - このルールが適用されない場合 a) 主語と[CD]の指示対象の交替可能性 ←無生物でも a をつける b) 別の”a+～”の存在 ←生物でも a をつけない ★a は条件次第で、意味構造をわかりやすくするためにつけるマーク（弱いルール） - 動詞の意味的性質による前置詞の有無 - 常に a を要求 (ayudar, servir, ...) - a なし（存在動詞としての haber, tener） - a の有無で意味が変化 (abandonar)	No encuentro <i>a mi gato</i>. (⇔ ... <i>mi libro</i>) Busca <i>a una traductora</i> [個別化] ⇔ Busca (<i>una</i>) traductora [誰でも] La virtud vence <i>al vicio</i> [無生物] ⇔ El vicio vence <i>a la virtud</i> [無生物] La columna tapa {el/al} cartel [両方可] Entregaron <i>el culpable</i> a la policía Llevaron <i>el niño</i> al pediatra ★初級レベルでは <i>presentar Carlos a mis amigas</i> も。 Ayuda <i>a los enfermos</i> Hay <i>muchas personas</i> Isabel tiene <i>dos hijos</i> abandonar <i>un pueblo</i> [去る] ⇔ abandonar <i>a un pueblo</i> [世話しない]

★ 『西和中辞典 第2版』『現代スペイン語辞典 改訂版』abandonar には、[CD]の a がつく際の意味変化についての説明はない。

1.3 特殊な構造

1.3.1	「絶対用法」の他動詞（「絶対他動詞」） ・ CD の不在（文脈により回復）	Los leopardos cazan de noche (+ <i>a sus presas</i>) Hace tiempo que no escribo (+ <i>cartas, literatura, etc.</i>) ★ <i>Comemos en casa</i> も「他動詞」と考えてよいのか？ ←ワークショップ内では、当該の文中に <i>CD</i> が明示されていない以上、それを「他動詞（の用法）」であるとはいいいくいのではないかという議論が出た。辞書でよく見るのは「他」「自」を例文中の <i>CD</i> の有無で区別している記述である。
1.3.2	内在的な直接補語 ・ 動詞と類似の意味の CD の使用 動詞：他動詞として使用 語根が同じ場合「同族補語」	Lloran <i>lágrimas de infortunio</i> ★ <i>Duerme una siesta</i> も？ Viven <i>la vida</i> Soñarán <i>sueños felices</i>
1.3.3	語彙化もしくは半語彙化された直接目的語 ・ 指示対象を表示しない →受動態にならない →（場合により）代名詞化しない	dar <i>asco</i> ~ asquear; dar <i>las gracias</i> ~ agradecer, tener <i>miedo</i> ~ temer; tener <i>confianza</i> ~ confiar prestar <i>atención</i> ~ atender; tomar <i>nota</i> ~ anotar El secretario dio <i>fe</i> → *El secretario la dio

2. 間接補語 (**CI**)

2.1 概要

間接補語とは？

- ・ 与格と関連する統語機能
- ・ 間接補語の役割を果たす形式

与格の弱勢代名詞	<i>[Le/les]</i> gusta el chocolate
前置詞 <i>a</i> で始まる前置詞句 <i>a</i> の項(<i>término</i>)は定でも不定でもよい ★ <i>término</i> の訳語？ ←ワークショップ内では、この文脈での <i>término</i> も、 <i>argumento</i> も、「ある要素が要求する別の要素」を指すという意味合いで、いずれも「項」という訳語が適当だろう、というやりとりが出た。	Regaló un libro <i>a sus amigos</i> Pidió ayuda <i>al profesor</i> Dio un beso <i>a alguien</i>

[199]

- ・ 多数の意味解釈を有する

「宛先」	何かが差し向けられる人・物 ★物の場合、 CI か場所（行き先）かの区別が難しい。（“ <i>Ponle el agua</i> ” 教科書[<i>Te veo</i> (DTP 出版)より] “ <i>Llevo este libro a José</i> ” “ <i>Llevo este libro a la biblioteca.</i> ”は?)	Donó sus bienes <i>a una sobrina</i>
「経験者」	感覚・感情の経験者	<i>Le dolían las muelas.</i>
「起点（となる人）」 (<i>origen</i>) ★訳語？	何かの出発点となる人(<i>persona</i>)	Compró una casa <i>a un constructor</i> ★ <i>Le sacaron una muela, Le quitaron el documento</i> も？
「受益者」	動詞の行為の害あるいは利益を受ける人	¿Podrías coser <i>me</i> este botón?

2.2 間接補語の文法的特性

2.2.1	与格の弱勢代名詞	・与格代名詞(le, les)と密接な関係 ・”a+名詞句”は与格代名詞と置換可能であれば CD ・「CI+CD」の語順、かつ両方弱勢代名詞の3人称：le/les→se	Envió un libro <i>a Irene</i> → <i>Le</i> envió un libro ⇔ Recurrió a Irene Recurrió a ella (*Le recurrió) Vendió los cuadros <i>a un coleccionista</i> → <i>Se</i> los vendió Entregarán el premio <i>al novelista</i>→ <i>Se</i> lo entregarán
2.2.2	弱勢代名詞の重複的使用	・CIは与格弱勢代名詞と重複的に使用される ・「CI+V」→義務的 ・「V+CI」→選択的な場合 義務的な場合 ・CIが強勢代名詞の場合→義務的	<i>A los contribuyentes</i> Hacienda <i>les</i> devolverá poco dinero Hacienda (<i>les</i>) devolverá dinero <i>a los contribuyentes</i> El deporte no <i>le</i> gusta <i>a Juan</i> (*... no gusta a Juan) <i>Me</i> entregó el paquete <i>a mí</i> (*Entregó el paquete a mí)
2.2.3	前置詞 a の存在	・前置詞句の CI：必ず a と組む「para と組む」? ←形式面で支持できない a) 与格代名詞に置換できない 与格代名詞と同じ指示対象を取ることができない b) 同じ文内に CI と「para 句」が共起できる	<i>Le</i> compró flores <u>para su mamá</u> (le ≠ su mamá) <i>Le</i> compró <i>al librero</i> (CI) una enciclopedia <u>para su hijo</u> <i>Le</i> (CI) dio un regalo <u>para su amiga</u> ⇔ <i>Le</i> dio un regalo <i>a su amiga</i>

2.3 項としての間接補語

- ・動詞の項構造で予見される

CIの場が予約される(se reserva)

dar 「誰かが何かを誰かに与える」

prometer 「誰かが何かを誰かに約束する」

- ・「宛先」「経験者」(通常)
- 「起点」「着点(término)」(時々)

- ・他動詞

移転(transferencia) : comprar, conceder, dar, devolver, entregar, enviar, llevar, mandar...

★comprar は間接補語を項としていると断言できるのか? *Compro bebidas* で何ら問題なさそう。

伝達 : decir, comunicar, contar, contestar...

・自動詞

情緒(afección)・情緒的反応：admirar, agradar, alegrar, convencer, disgustar, divertir, encantar, impresionar, interesar, molestar, ofender, preocupar...

★gustar も入るはず。点線のある動詞は『西和中第2版』で「他動詞」に分類されていたもの。なお、ワークショップで、ここでは molestar を「自動詞」としているのに、2.4.2 の例文では直接補語のある例文を提示しているので、『新文法基礎』の記述には矛盾があるという指摘が出た（該当箇所を黄色で示している）。これ以外にも記述に一貫性がないことが複数の参加者から指摘された。

関わり・割り当て：atañer[に関わる], competer[の管轄である], corresponder, importar, incumbir[の責任である] ★これらは被制辞補語との違いが意味からはややわかりにくい

2.4 項でない間接補語

2.4.1	関心の与格	・「誰かが何かを～する」の構造を持つ動詞 「受益者」の付加 (CI) →弱勢代名詞が必要 次のような動詞で生じやすい 準備、創造、破壊 (cocinar, copiar, coser, destruir, dibujar, encontrar, lavar, pintar, poner, preparar, reparar, romper...) ★abrir も? (ドアを開けてあげる)	Inés preparó un guiso Gloria pintó un óleo Ana le reparó la radio a mi padre (?Ana reparó la radio a mi padre)
2.4.2 [201]	その他の与格代名詞とその特性	a) 2つの範列に属する 一致する与格 (再帰) 一致しない与格 (非再帰) b) 削除しても文の指示機能は失われない c) 多様な形で強調の意味を加えるとともに、動詞が表す行為によって直接的間接的に影響を受ける人を示唆する d) 与格代名詞は同じ文の中で他の間接補語と共起できる ★つまり1つの動詞が間接補語を2つ取ることができるが弱勢代名詞が必要ということ?	No me lo voy a estudiar todo Al niño no me lo molestes Hoy (nos) daremos un paseo (Se) lo merece usted todo Su hijo no (le) come nada Mi computadora (me) falla A mi marido ese policía me [G] le [CI] impuso una sanción No me [G] le [CI] pongan ustedes la mano encima
2.4.3	一致する与格 ²	特徴 a) 主語と性数一致する再帰の弱勢代名詞の形を取る (me, te, se...) b) 前置詞句との重複はしない c) 一致しない与格と共起できる d) 文のプロセスの強調を導入する e) 継続的なプロセスが状態の変化に至る (「アスペクトの与格」) f) 区切りのある出来事に適用される →限定詞のない名詞は排除する	*Nos ganamos un premio a nosotros Se nos han comido la merienda leerse el periódico ⇔ leer el periódico Me recorrí todo el camino Se ha estudiado toda la Química Inés se tomó el yogur (*Inés se tomó yogur)

² 一致する与格としない与格の表が原書 p.201 にある。本稿では省略する。

2.4.4 [202]	一致しない与格	・文脈によって価値が異なる a) 動詞の行為の受益者、被害者、関与者（「心性与格」） ・「一致する与格」と共起可能 ・項の CI と共起可能 b) 他の補語に示された物の（広義での）所有者を指示することができる（「所有与格（DATIVO SIMPATÉTICO O POSITIVO）」） ★この用語は古典ラテン語から ★「他の補語」ではなく「主語」と言う方がわかりやすい気がする	¿Les llovió a ustedes durante el trayecto? Nos nació otro hijo. No <u>te</u> [一致] <u>me</u> [不一致] <u>comas</u> el pastel A <u>mi hijo</u> <u>me</u> <u>le</u> [項] dieron un premio <u>Se</u> <u>le</u> rompió un dedo <u>Se</u> <u>me</u> fue el autobús
----------------	---------	---	--

3. 前置詞被制辞補語 (**CR**)

3.1 概要と範疇

3.1.1 定義

（前置詞）被制辞補語：動詞が取る前置詞句によって果たされる項としての統語機能
名詞や形容詞が取る前置詞句の場合もある

{depender / dependencia / dependiente} de las circunstancias

被制辞補語	状況補語
Habló <u>sobre</u> la gripe	Habló <u>sobre</u> la <u>tarima</u>
Juan acabó <u>con</u> la <u>prisa</u> ★この文の意味?	Juan acabó <u>con</u> <u>prisa</u>
Confunde la presbicia[老眼] <u>con</u> la <u>miopía</u>	Lo conjunde <u>con</u> <u>su</u> <u>miopía</u>

3.1.2 特徴

a)	・前置詞句で表される機能である	Se queja de la comida Se abalanzó sobre ellos Renuncia al cargo
b)	・項としての機能である 動詞、名詞、形容詞の項構造（これらと組む力）で 予見される	
c)	・前置詞も核によって選ばれる 複数の前置詞と共起しうる動詞がある ・意味が著しく変化するもの ・意味の変化が軽微なもの	{confiar ~ confianza} en los demás {proceder de ~ proceder a} {hablar de / sobre / acerca de...}
d)	[203]・被制辞で最もよく用いられる前置詞： a, con, contra, de, en, por	
e)	・前置詞の項(término) 名詞句 代名詞 名詞節 ・名詞句と名詞節は強勢代名詞と置換可能	Depende <i>de la ministra</i> = Depende <i>de ella</i> Depende <i>de nosotras</i> Depende <i>de que la ministra esté de acuerdo</i> = Depende <i>de ello</i>

3.2 被制辞補語を伴って構成される動詞

3.2.1	代名動詞	・再帰範列の代名詞とともに形成される ・典型的には被制辞補語を伴って構成される abalanzarse (sobre), adelantarse (a), adentrarse (en), alejarse (de), arrepentirse (de), atreverse (a), desprenderse (de), enterarse (de), esforzarse (en), exponerse (a), ocuparse (de), preocuparse (por), privarse (de), quejarse (de), reírse (de), vanagloriarse (de)...	Se desprendió <i>de todas sus riquezas</i> [彼は全財産を手放した] Se adelantó <i>a su tiempo</i> [彼は時代を先取りした]
3.2.2	非代名動詞	・相当数の非代名動詞が被制辞補語を取る ・被制辞補語を義務的に取る動詞 equivaler (a), versar (sobre) [述べる] ・被制辞補語が選択的な動詞 acceder (a), arremeter (contra), bastar (con), convencer (de), depender (de), desconfiar (de), desistir (de) [断念する] influir (en), insistir (en), recurrir (a) [すがる], renegar (de) [（信仰を）捨てる] renunciar (a)	Su familia carecía <i>de recursos</i> Arremetió <i>contra los funcionarios</i> [彼は役人達を非難した]
3.2.3	<u>CD</u> と <u>CR</u> を伴って構成される動詞	・数は多くないが<u>CD</u>と<u>CR</u>が共起しうる動詞がある adecuar <u>CD</u> (a), comparar <u>CD</u> (con), confundir <u>CD</u> (con), decir <u>CD</u> (de), defender <u>CD</u> (de), informar <u>CD</u> (de), invitar <u>CD</u> (a), obligar <u>CD</u> (a), persuadir <u>CD</u> (de), someter <u>CD</u> (a)	Dijo <i>barbaridades del entrenador</i> <u>Los</u> libró <i>de un castigo ejemplar</i> [彼は彼らをみせしめの罰から解放した] <u>Te</u> invito <i>a cenar</i>

3.3 場所、時の要素と被制辞補語

・伝統文法

場所や時の状況補語とこれらを外延として意味的に示す補語（＝被制辞補語）を近似的に扱う
次の下線部を同一視していた

Se casó <u>en Maracaibo</u>	任意に加えられた付加語
Residía <u>en Maracaibo</u>	動詞によって要求されている

[204] 同類の動詞：colocar, desembocar [注ぎ込む], permanecer, poner, suceder, vivir ★*ir* も？

・deを取る動詞：alejarse, apartarse, desviarse, distar, emanar, huir, proceder...

名詞句は1つの副詞に置き換えられる

El ruido emana *de la fábrica* → Emanar *de allí*

Sus ideas proceden *de la Antigüedad* → Proceden *de entonces*

・場所や時のCRが「何かが生じる場所(lugar donde)」 「何かが生じる時(tiempo en el que)」の時： 一般的なスペイン語では、副詞は前置詞を包含する

Viven *en Arequipa* → Viven *allí*

(以上)

【最後に】担当者にとっては「項(argumento)」の概念の適用が、特に CI の用法を理解するのに役だった。
問題点として、CD か CI か（支配動詞が他動詞か自動詞か）で判断の曖昧なグレーゾーンの処理が挙げられる。
初級文法の授業では、グレーでない明確な用例を優先的に教えることが重要であると考ええる。